

3. 倫理と専門家実践ガイドライン

3.1 倫理ガイドライン

3.2 専門家実践ガイドライン

3.2.1 タイトル

3.2.2 広告の基本原則

3.2.3 トレードマークのポリシーと TA のロゴの使用のガイドライン

3.2.4 推奨される専門家の礼儀

3.3 ITAA 倫理委員会

3.4 (倫理に関する)助言、調停、仲裁についての手続き

※ 3.1 倫理ガイドラインのみ邦訳

3. 倫理と専門家実践ガイドライン

3.1 倫理ガイドライン

これらのガイドラインは、ITAA の声明に関連する基本的な考えが記されており、ITAA 会員メンバーがプロフェッショナルとして活動する際には、これら倫理観の基準にそって活動するように告げられています。同時に世間に対して、ITAA 会員メンバーは倫理的行動をとることを知らせるものでもあります。

もし ITAA 会員やトレイニーの行動がこのガイドラインに記されている基本的原則に合致していない時や、同僚や ITAA からのコンフロンテーション後も、それら行動に変化が見えないと判断された時は、会員権やメンバーのトレーニング契約は、ITAA が差し止めることもあります。

ITAA メンバーの活動・実践する際には、本倫理観への追加条項としてそれぞれの国や地域の組織によって存在する可能性があります。関係者は、それら事項についても注意を払うことを求められています。

- A. ITAA のメンバーは、人類すべての尊厳を認めます。メンバーは、どのような差別的、圧制的行動を意識的はもちろん、無意識でも行わないことを求められています。
- B. ITAA のメンバーは、ITAA 並びに TA アナリストとして責任ある立場として、他のメンバーの人格や地位、資格等を下げるような諷刺（当てこすり）や品位を落とすような声明を公表してはならない。しかし、個人に直接、該当行動についての批判（評価）は自由にできます。
- C. ITAA のメンバーは、どのようなことがあっても意識的あるいは、無意識的にもクライアントを傷付けるような事にならないように、メンバーの可能な限りのサービスを提供し、保護することを第一の責任とします。
- D. ITAA のメンバーは、クライアントが尊厳や自律、自己責任のポジションからの気づきや動きが生まれるように努めなければなりません。
- E. ITAA のメンバーがおこなう TA の実践（研修、セラピーやカウンセリング等）時は、メンバーとクライアントそれぞれがそれを行う能力を持っていること、目的を達成する意図があることなどをお互いに情報交換をした上での、契約（コントラクト）の締結から始まります。もし、クライアントがこの契約上の関係において、自律的

且つ、責任をもって行動できないあるいは、行動を起こさない場合は、ITAA のメンバーは、クライアントが傷付かない方法でこの関係（契約）を解約あるいは、再契約というあらたな契約に変更しなければならない。

- F. ITAA のメンバーは、経済的あるいは、肉体的関係を含み、どのようなやり方においてもクライアントを利用してはならない。ITAA のメンバー間、メンバーとそのクライアント間、スーパーバイザーやトレイニーとの肉体関係は禁止です。
- G. ITAA のメンバーは、(他の) メンバーとクライアント間の活動や関係のプロフェッショナルな契約を阻害するかもしれない (新たな) プロフェッショナルな契約を結んだり、維持したりしません。
- H. ITAA のメンバーとクライアントとのプロフェッショナルな関係は、その契約をもって明確に定められます。それらプロフェッショナルな関係は、契約の終結によって終了します。しかし、ある種のプロフェッショナルとしての責任はその後も継続します。以下に限られるわけではありませんが、下記の 3 つがあります；
- 同意された守秘義務の保守
 - それまでの関係を利用することはしない (搾取の回避)
 - 必要に応じたフォローアップケアの供給
- I. ITAA のメンバーは、クライアントやトレイニーに対して責任を全うするなかで、彼らが活動する地域及び、国の法律を理解し、サービスを組み立て仕事をします。
- J. ITAA のメンバーは、プロフェッショナルな関係をクライアントと確立していく中で、秘密を守ることへの特別な配慮や、身体的な安全への配慮あるいは、ハイリスクな工程について、事前にクライアントや関係者の同意を得るなどクライアントにとって適切な環境を提供する責任があります。
- K. ITAA のメンバーは、契約上の関係を維持していく中で、葛藤や医療問題等が大きく影響すると気付いた時は、プロフェッショナルな責任ある方法で、その契約を中止するかもしくは、クライアントに契約継続を決断するための必要なすべての情報を明確にしなければならない。
- L. ITAA のメンバーは、非倫理的な行動をとっているとか、問題解決がうまくいっていないと思われる正当な事象を認めた場合は、同僚にコンフロントしたり、その同僚を適切な専門の人物に報告したりすることの責任があることを受け入れます。

- M. TA 心理学を自分自身の専門家としての実務に応用する ITAA メンバーは、カンファレンスやセミナーへの参加、専門書の執筆や読書、TA 協会への関心を示すなど、自分自身の TA 分野に関する情報を常に更新する決意（コミットメント）を表明します。